

3類型	鉱工業品、観光資源	通巻番号	2-28-004
地域資源名	もち、世嬉の一酒造場	認定日	平成28年7月6日
地域	岩手県一関市	所管省庁	経済産業省、国土交通省、農林水産省

事業名：観光資源である世嬉の一酒造場を活用した一関の餅食文化体験交流観光プログラム及び餅土産品の開発事業

会社名：世嬉の一酒造株式会社（法人番号4400501000181） 所在地：岩手県一関市田村町5-42

連絡先：TEL：0191-21-1144
FAX：0191-21-1143

H P：http://www.sekinoichi.co.jp

事業概要（地域産業資源の活用）

一ノ関駅周辺エリアという立地優位性を持つ観光地域資源である当社の酒蔵群を活かし、一関に伝わるこの地域独特の餅食文化体験交流観光プログラムを、訪日外国人旅行者（インバウンド）を含む食文化の体験観光に興味を抱く層をターゲットに開発する。また、イベントだけで終わらせず、餅食という一関の地域観光の魅力を活かした商品化をすすめるという理念に立ち、餅土産品の開発に取り組む。



【世嬉の一酒造場】

新たな需要の開拓の見通し（市場性、販路、商品の特性）

◆市場性

近年、低迷する国内旅行において「着地型旅行」とよばれる新たなコンセプトに注目が集まっている。本事業で取組む、体験交流型観光（餅つき体験と餅本膳体験）はまさにこの範疇に属する。

◆需要の開拓の方針

訪日外国人観光客（インバウンド）を含む食文化体験交流観光利用者をターゲットとする。

◆商品の特性

本事業で開発する餅食体験プログラムや餅土産品の基となる一関の餅料理は、その多彩さでは日本一といわれており、冠婚葬祭時の「もち本膳」などはこの地方独特のものとなっている。



【餅本膳】

地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

一関市の観光振興計画では、一関地方の食文化として特徴的なもち料理について、地域観光の魅力の一つでもあることから、今後も国内外に向け広く普及宣伝に努めるとしている。本事業では、土産品開発で地元の大林製菓や公益財団法人岩手県南技術研究センターが協力者となると共に、観光面では市や商工会議所、観光協会、飲食店組合などと連携して取組んでゆく。



【餅食体験】